

学校 教育 目標	～ 優しさ 思いやりを柱に ～ 未来を創る力の育成				・学力向上 (知) ・健やかな心と体 (徳・体) ・社会の一員としての自覚と責任 (公・開)
	学校 概要	創立 51 周年 児童生徒数: 366 人	学校長 神林 康之 主な関係校: 左近山小・市沢小・今井小	副校長 大内 雅代	2 学期制 一般学級: 個別支援級: 通級指導教室: 情緒・難言

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	左近山小学校	自ら問題を発見し、協働して課題解決に取り組む子ども  ○代表者会議によるカリキュラム・マネジメントの構築。 ○合同研修や相互の授業参観を年3回実施。 ○小中の相互理解、児童・生徒指導上の課題解決の促進。 ○「児童生徒交流日」等の行事を通じた積極的な児童・生徒間交流実施。

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員が研修に努め、教師力の向上を目指し、学校経営に主体的に参加します。</li> <li>○見通しをもった主体的な学びによって、生徒の学力向上に努めます。</li> <li>○自他を大切にすることを育てます。</li> <li>○体力の向上を図って、学校生活の中で体力向上に取り組めます。</li> <li>○生徒の社会的視野を広げ、社会の一員としての自覚と責任を高めます。</li> <li>○地域や家庭、関係機関と連携を深め、「地域に根付いた、開かれた学校」を目指します。</li> </ul>
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b>	①小中一貫教育推進ブロック授業研による三つの資質・能力を踏まえた授業を推進します。 ②朝総合、放課後校内での学びのひろば開室により、授業で学習した内容の定着をはかり、自主学習のアドバイスおよび支援を行います。
担当 学習指導部	
<b>豊かな心</b>	①人権国際理解講演会、人権作文・人権標語づくり、人権作文・人権標語全校発表会など学校全体での取組を実施します。 ②人権教育実践推進校として実践した取組を踏まえた教科道徳の授業を行います。
担当 人権生活指導部	
<b>健やかな体</b>	①体力テストの実施とその結果を踏まえて、日常の体力向上の意識した授業を行います。 ②体育祭で行う全体競技および個人競技へ向けた期間と体育祭実施によって、身体を動かすことの大切さと楽しさを意識する取組をします。
担当 保健体育科・体育祭実行委員会	
<b>キャリア教育</b>	①将来の職業選択の幅を広げるために複数の講師を招いた職業講座を実施します。 ②勤労や職業に対する意識を深めるために学校周辺を中心とした地域の協力を得て、職場体験を実施します。
担当 学習指導部	
<b>生徒指導</b>	①年3回の教育相談日の設定および日常の学校生活における観察・声かけを組織的に行います。 ②保護者・地域・関係機関と連携し、教員が情報共有し、組織的な指導にあたっています。
担当 人権生活指導部	
<b>特別支援教育</b>	①特別支援教育コーディネーターを中心として全職員で、特別な支援を要する生徒を指導・支援しています。 ②全校で個別支援学級・通級指導教室への理解を深めています。 ③左近山特別支援学校との交流を通してインクルーシブ教育を推進します。
担当 特別支援教育委員会	
<b>地域連携</b>	①地域活動に協力するとともに自治会主催の行事への参加を通して、地域との連携を深めます。 ②地区懇やまち懇、学校HP等により中期学校経営方針を説明し、地域に根付いた学校づくりを進めます。 ③ブロック内の小学校・特別支援学校と共に地域との連携を進めます。
担当 管理職・教務主任・専任	
<b>教育環境整備</b>	①施設・設備の日常の点検を通して、老朽化への対応を計画的に行い、安全な環境づくりをします。 ②空き教室を少人数教室として活用するために環境整備を行います。
担当 事務部	
<b>いじめへの対応</b>	①いじめ防止研修・生活アンケートの実施による職員の意識向上や体制づくりを行います。 ②いじめ防止対策委員会の開催と職員への周知徹底による再発防止に努めます。
担当 いじめ防止対策委員会	
<b>人材育成・組織運営 (働き方改革)</b>	①一定キャリアのある教職員をリーダー・まとめ役に配置し、それらの教職員が自らの力を高めながら経験の浅い教職員を育成します。 ②不祥事防止研修を含む校内研修及び自主研修により教師力の向上を目指しています。 ③市部活動ガイドラインをもとにして適切な部活動を行います。
担当 管理職	